

パル動物病院

～人と動物の絆～

よりよい関係を目指して

私たちは最先端の診療技術を生かし、地域に密着した動物病院を目標にしております。

◆ 裾野センター病院

静岡県裾野市伊豆島田 843-5

TEL **055-993-3135**

◆ 沼津病院

静岡県沼津市沼北町 1 丁目 5-27

TEL **055-922-6255**

●●●●● 診療時間 ●●●●●

受付時間

◆ 裾野センター病院

全日	午前	9:00 ~ 11:30
	午後	14:00 ~ 18:30

◆ 沼津病院

平日	午前	9:00 ~ 11:30
	午後	14:00 ~ 18:30
日	午前	9:00 ~ 11:30
木・祝日	休診	

●● パルニュース 2025 年 7 月号 ●●

◆ 熱中症

◆ 食欲不振への対処法

●●●●● 専門科診療 ●●●●●

当院では、下記の専門診療をおこなっております。ご希望の方は事前にご予約ください。

◆ 口腔科

奥田 綾子 先生 博士 (歯学)

◆ エキゾチックペット科

霍野 晋吉 先生 博士 (獣医学)

◆ 皮膚科

関口 麻衣子 先生 博士 (獣医学)

◆ 行動治療科

フリッツ 吉川 綾 先生 博士 (獣医学)

◆ 眼科

当院 小野 啓 博士 (獣医学)

当院 都能 敏順

●●●● ウェブサイト ●●●●



pal-ah.jp

熱中症

暑くなると、犬や猫も人と同じように、熱中症になることがあります。犬や猫は体高（地面からの体の高さ）が低いため、暑くなった地面からの輻射熱の影響をより受けやすく、夏場の散歩はより注意が必要です。本日は、犬と猫の熱中症について紹介します。

【概要】

通常、体温は中枢神経により一定となるよう調節されています。しかし、高温多湿な環境が続くと、体温の調節機能が破綻し、高体温が持続する状態となってしまうことがあります。持続した高体温は、体の細胞へ障害を与え、結果として様々な臓器障害を引き起こします。この状態を一般的に熱中症と呼んでいます。

熱中症は、対応が遅れたり、適切な治療が行われなければ、命を失うこともあります。

【原因】

夏場の熱中症は主に、暑い屋外への外出時に多く見られます。室内でも、高温多湿な状態が続いたり、飲水不足により熱中症を生じることがあります。また、夏場以外でも、過度な興奮の持続による高体温の維持や、肥満体型によって体温が上昇しやすくなるのも、熱中症の原因の1つです。

【症状・診断】

実は、明確な熱中症の定義はありません。体温が 41℃ 以上に上昇すると、中枢神経の機能障害が生じると言われています。

ます。来院時の体温が高熱でなくても、来院前に高熱だった結果、熱中症の症状が表れている可能性もあります。病態は熱中症の程度によりさまざまで、下痢や嘔吐、痙攣発作、意識状態の低下などが挙げられます。重度になると、昏睡や循環不全に伴うショック状態を起こすこともあります。また、播種性血管内凝固（血栓が生じることによる臓器不全の状態）へと進行することもあります。

【治療・予防】

治療はまず、冷却を行いながら、体の循環状態の改善を目指します。冷却は水流や冷風を用いて行い、過度に冷やさないう注意が必要です。循環状態の改善として、輸液療法も併用します。状態に応じて、抗凝固剤の使用や対症療法を組み合わせることもあります。

熱中症は、高い致死率を生じる緊急疾患の1つです。熱中症にならないように、日頃の環境や予防に努めましょう。

【参考文献】

- ・犬と猫の治療ガイド 2015 (interzoo)
- ・犬と猫の救急医療プラクティス (緑書房)

食欲不振への対処法

食欲不振とは、本来備わっている「食べたい」という欲求が低下、または消失する状態をさします。状況が長く続けば、体力や免疫力の低下、栄養失調、持病の悪化にもつながりかねません。今回は、ペットの食欲不振の原因と、その対処法についてご紹介します。

○食欲不振の原因を見極める

ペットの食欲が落ちたとき、まずは食欲不振以外の症状がないかを観察します。元気がない、嘔吐や下痢が見られる、体のどこかを痛がる、水をたくさん飲む、体重が減っている、呼吸が苦しそう、咳をしている、などの症状が見られる場合には、何らかの病気が関与している可能性があります。早期に動物病院で受診することをおすすめします。

食欲が落ちているのに、体調に異常が見られない場合には、病気以外の理由も考えます。フードの味やにおいに飽きてしまった、あるいは硬すぎて食べづらいなど、食事そのものに原因があることがあります。また、食器の形や高さが合わず、うまく口に運べないこともあります。さらに、環境の変化によるストレスや、加齢により筋力や嗅覚が衰えて食欲不振におちいる場合もあります。

○食欲をうながすための家庭での工夫

なるべく食欲が増すように、以下のように工夫することができます。

- ・食事を温める：食事を電子レンジなどで人肌程度に温めると、香りが立ちやすくなり、食欲を刺激することができます。
- ・食感を変える：別の形状のドライフードに変える、ドライフードを細かく砕く、ドライフードとウェットフードを混ぜる、などの工夫で食べやすさを調整することができます。
- ・ペットの食べ方を観察し、食べやすい食器に変更する。
- ・間食のタイミングや量を調整する：間食で満腹になってしまうことも多いので、おやつは食事に影響が出ない範囲で与えます。

○病気の影響で食べない場合

食欲不振の原因となる病気には、胃腸炎や膵炎などの消化器疾患、腎疾患、腫瘍（細胞が異常に増えてできる「できもの」、悪性の場合はがん）などが挙げられます。これらの病気が見つかった場合は、まず原因となる病気の治療を行います。

病気が改善すれば、食欲も回復する可能性が高くなります。しかし、完治が難しい病気になってしまった場合は、栄養状態を保つために以下のような処置を行います。

- ・食欲増進剤の投与
- ・強制給餌：専用のシリンジ（注射器のような道具）などで、ペースト状の食事を少しずつ口に運びます
- ・カテーテルを使った栄養補給：カテーテル（細くてやわらかい医療用チューブ）を、鼻や食道、胃に設置し、液体状のフードを直接体内に届けます。

これらの方法により、動物への負担をなるべく軽くしながら、必要な栄養や水分を与えることができます。

食欲は健康のバロメーターです。食欲不振が見られたら、まずは体調の変化に注意し、早めの対応を心がけましょう。ご自宅でできること、そして専門的なケアを組み合わせながら、ペットの健やかな毎日を支えていきましょう。

参考文献

Companion Animal Practice Vol.39 No.3,2024(緑書房)
動物看護 Vol.36 No.4,2024(EDUWARD Press)